

なかざわ きよたか
中澤 清孝

コロナを乗り越えよう

●電機連合・書記長

新型コロナウイルスが、私たちの健康や生活、働き方にこれほど大きな影響を与えることになるとは、一年前の今頃、全く想像できませんでした。現在、各国のワクチン開発が急速に進み、一定の目処がつきつつあることは、一つの明るい材料ですが、感染症の終息は未だ見通せない状況にあります。しばらくは安全を守る対策と経済活動の両立が求められることになると思います。また、終息後も以前と全く同じ日常には戻らないということをお忘れではありません。生活様式、働き方など様々な点においてウィズ・アフターコロナ社会における新たな対応が必要となります。

電機連合加盟組合企業では、今年の緊急事態宣言をきっかけに感染拡大防止の観点から、制度導入の有無に関わらず緊急避難的にテレワークや在宅勤務を実施したところが多くありましたが、安全衛生や労働時間管理、情報セキュリティなど運用面における課題が浮き彫りになりました。今後はこれらの課題を踏まえ、既にテレワーク制度を導入している企業の組合においても改めて制度点検を行うなど、すべての労働者が生活との調和がより可能となる柔軟な働き方に資する職場環境の整備に向けて取り組んでいく予定です。

話は変わりますが、電機連合では、中長期的な視点で労働運動を俯瞰する羅針盤として「中期運動方針」を策定し、その実現をめざした取り組みを展開しています。現在、向こう10年間の環境変化を展望しながら、「新」中期運動方針策定論議を行っており、今年夏

の定期大会で確立する予定です。私たちを取り巻く環境は人口減少や超少子高齢化、労働生産年齢人口減少などの構造的課題や、DX、技術革新、産業構造変化、Society5.0社会など、これまで以上に様々かつ、急速な変化が予想されます。これらの環境変化に加え、新たにウィズ・アフターコロナの視点も加えて論議を重ねているところです。論議途中ではありますが、ウィズ・アフターコロナ視点での組合活動に関する論議内容の一端をご紹介します。

新型コロナウイルス感染症の拡大によって、「あたりまえ」のことが「あたりまえでなくなった」ことを痛感することとなりましたが、労働組合の運動・活動でも「あたりまえ」の認識を変えていく必要があります。例えば今後、テレワーク・フリーアドレス、サテライトオフィス・リモートワークなどが増え、勤務場所が固定されない状況が常態化することも想定されます。また、多様な雇用形態・勤務形態がさらに加速する事業が増えていくことも想定され、会社の組織運営の変化に対応できる組合組織のあり方と労働運動の民主的運営の担保を意識しておく必要があります。WEB会議システム自体が会社の事務的役割として、仮想空間上のオフィスになることも否定できません。これらに対し、労働組合もHPやSNSなどの仮想空間上にバーチャル組合事務所を開設し、組合員の相談対応や各種申請手続き、更には機関確認手続きが行



える環境整備やルール作りが必要となります。

……果たして数年後、このような状況が恒常化しているのかどうか明確には言えませんが、想像力を駆使しながら論議を行っているところです。蛇足になりますが、これまでに策定された中期運動方針にはタイトルが添えられています。1985年の中期運動方針タイトルは「21世紀に橋渡す国際化・高度情報革命下の運動ビジョン」、2000年「新しい豊かさへの挑戦」、そして2010年「ニューフロンティア切り拓く、力強い前進を。」としています。各タイトルが、実にその時々々の時代背景を上手く映し出しているように感じます。さて、現在論議中の“新”中期運動方針には、どんなタイトルが添えられ、これからの時代を映し出していくのか、私自身も楽しみにしています。

新型コロナウイルスはスポーツ界にも大きな影響を与えました。全国中学校体育大会、全国高等学校総合体育大会、全国高等学校野球選手権大会など、ほとんどの学生スポーツの大会中止が相次ぎました。全国大会を夢見て日々努力を重ねてきた各カテゴリーの最終学年の選手にとっては、あまりにも厳しい結末です。指導者や関係者は、かける言葉が見つからないとの報道もよく目にしました。選手たちの心情を思うと軽々な言葉は口にできませんが、この経験を何らかのプラスのエネルギーに変え、豊かな人生につなげて欲しいと願わずにはられません。同様にオリンピッ

ク・パラリンピックも2021年夏に延期されました。新型コロナウイルスを乗り越え、2021年開催の「2020東京オリンピック」が実現することを切望します。スポーツはオリンピックに限らず、観る者に感動とエネルギーを与え、そして競技者には身体と心の成長をもたらしてくれます。また、単に競技的要素に留まらず、健康や生涯のライフイベント的要素を通じ、人生そのものを豊かにしてくれます。欧米では当たり前となっている「文化としてのスポーツ」が日本にも根づきつつあると感じます。「2020東京オリンピック」が、日本における「文化としてのスポーツ」の定着に繋がり、新型コロナウイルスに人類が打ち勝つシンボルの祭典となることを期待します。

新型コロナウイルス拡大によって、改めて命の尊さも感じることになりました。最前線の現場で戦われている新型コロナウイルス感染症対策に従事する医療・福祉関係の方々や生活を維持するため営業を続ける事業者の方々に心から感謝いたします。また、事業への大きな影響を受けている様々な業界の方々もいます。国には、あらゆる政策を投じて国民の安全と生活、雇用を守る取り組みが求められます。そして私たち一人ひとりも自分が出来る感染予防対策を徹底することが大切です。出口がなかなか見えてこない中で不安な日々が続きますが、皆の力でこの難局を乗り越えていきましょう。